

# JPDA 9月定例理事会議事録

日 時：令和元年9月11日（水）午後1時30分～午後6時00分

場 所：文京シビックセンター（区民会議室）5階 会議室C

東京メトロ丸ノ内線・南北線 後樂園駅前

出席者：理事24名中23名（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、牛島志津子、  
梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、加藤芳夫、小原 司、  
鈴木智晴、竹内清高、高田知之、中越 出、永田麻美、中森恭平、信藤洋二、  
藤田 隆、三原美奈子、森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

監事2名中1名（池田 毅）

欠席届2名（畝野裕司、時田秀久）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡  
池田 毅

## 議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者24名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、池田 毅監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

(承認事項はゴシック、議案協のP.は議案書の該当ページ)

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、個人1人、法人1社から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

### (1) 個人会員（1人）

<東日本>

福井 亜美（ふくい あみ） 【推薦者：二ノ宮 信広（ニコデザイン）】

### (2) 法人会員（1社）

<東日本>

グラビティワン株式会社 【推薦者：山崎 茂】

## 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した下記の個人会員1人、法人会員1社の退会を承認した。

### (1) 個人会員（1人）

<東日本>

佐野 文胡（さの あきこ） 【令和元年6月末退会希望】

（(株)ラジアンが法人会員なので、個人会員としては退会するとのこと）

### (2) 法人会員（1社）：P.12

<東日本>

株式会社 ワークファブリック（代表：和久津 康弘）【令和元年11月末退会希望】

（80歳となり、デザインの現場を退職したため）

## 第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記5件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

### (1) 後援名義の使用依頼（2件）

- ・「第13回 メディア・ユニバーサルコンペティション」

（応募期間：2019年9月2日～11月29日、審査日：2019年12月17・18日

表彰式：2020年2月上旬サンシャインシティ ワールドインポートマート）

主催 全日本印刷工業組合連合会

- ・「第31回公募 2020日本ジュエリー展」

（応募締切：2020年3月6日、授賞式：2020年6月17日東京都美術館

展覧会：2020年6月17～21日 東京都美術館）

主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会

### (2) 協賛名義の使用依頼（1件）

- ・「第30回 西日本食品産業創造展’20」

（2020年5月13～15日 マリンメッセ福岡）

主催 日刊工業新聞社

### (3) 共催名義の使用依頼（2件）

- ・展覧会「現代日本のパッケージ2019」（JPDA大賞巡回展）

（2019年9月28日～12月8日 印刷博物館 P&Pギャラリー）

主催 凸版印刷株式会社 印刷博物館

※11/24（日）15:00～16:30に「受賞作品を語る」という題の講演会あり。

(モデレーター：加藤理事長)

・「富山デザインフェア2019」(JPDA大賞巡回展)

(2019年10月4日～10月6日 富山市民プラザ)

※共催名義使用の他、「JPDA大賞2019」のための展示品(入賞作品)の借用、  
「日本パッケージデザイン展2019とやま」の主任審査員として畝野理事の  
派遣、及びJPDA協会賞(賞状と記念品)の授与、富山デザインフェア2019  
「デザインスクール」への講師派遣(原井 繁氏、川淵 満氏)の依頼あり。  
主催 富山デザインフェア実行委員会

#### 第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長報告
- ・7/22 2020企画展打合せ(加藤専務理事同席)
  - ・7/23 東京国立博物館 井上副館長面談(2020年企画展の件)
  - ・7/26 JPDAデザイン学校打合せ(加藤専務理事同席)
  - ・7/27 アスパック国内一次審査
  - ・7/30 D-8運営会議(渡邊事務局長同席)
  - ・8/7 APD in NARA内容委員会(井上副理事長同席)
  - ・8/27 2020企画展打合せ(加藤専務理事同席)
  - ・8/28 JPDAデザイン学校打合せ(加藤専務理事同席)
  - ・8/29 日本パッケージングコンテスト表彰式
  - ・9/5 国内交流+東日本委員会(渡邊事務局長同席)
  - ・9/11 APD in NARA内容委員会(井上副理事長同席)
- 井上副理事長報告
- ・7/23 西日本委員会
  - ・7/27 アスパック国内一次審査
  - ・7/29 ウスビ・サコ氏 APD講演内容についての打合せ
  - ・8/1 ウスビ・サコ氏面会、APD講演依頼
  - ・8/6 西日本委員会
  - ・8/7 APD in NARA内容委員会(伊藤理事長同席)
  - ・8/23 西日本勉強会「あえるVol.2」
  - ・9/11 APD in NARA内容委員会(伊藤理事長同席)
  - ・9/17 西日本委員会
- 加藤専務理事報告
- ・7/26 JPDAデザイン学校打合せ(伊藤理事長同席)
  - ・8/6 JPDAマガジン 株式会社ポーラ取材

- ・8/7 APD in NARA内容委員会（伊藤理事長同席）
- ・8/8 おいしい東北展打合せ（仙台）
- ・8/27 2020企画展打合せ（伊藤理事長同席）
- ・8/28 JPDAデザイン学校打合せ（伊藤理事長同席）
- ・8/29 出版委員会

※議案書にあった9/11～12のペンタワード コンフェランスと表彰式は台風のためフライトキャンセルがあり、出席できなかった。

#### 第5号議案 令和2・3年度役員選挙に関する「選挙管理委員会設置」及び「選挙管理委員選任」承認の件（総務・事務局）

渡邊事務局長より、10月からスタートする役員選挙にあたり、選挙管理委員会の設置と委員長を含む選挙管理委員5名の選任を提案し、満場一致で承認された。

なお、立候補・推薦の締切は10/25（金）、投票は11月末～12月末となり、開票は令和2年1/10（金）。その開票結果は1月の定例理事会で報告される予定。

#### 第6号議案 「デザインを強くする」委員会活動 2019（井上副理事長） “第3回 コミュニケーション（発信）活動の見直し”

井上副理事長より、資料に基づき、「これまで2回、主にJPDAのクリエイティブ活動に関してワークショップ形式のディスカッションを重ねてきたが、今回は『コミュニケーション（発信）活動を、世の中にJPDAの価値観の浸透を図る活動』ととらえて、この推進についての意見交換を行いたい」との提言があった。

- ・クリエイティブ活動は「パッケージデザインの価値について考えその向上をはかる」活動とし、今後数多くの活動の優先順位を考え委員会の統合を図っていくこととするが、それについては次回以降の理事会で事務局案として上程していきたいとのこと。
- ・その後、渡邊事務局長より、事務局でまとめた「今後の広報活動についての提言」について以下の説明があった。
  - ① これまではJPDAから外部メディアに対する一般的な広報活動はほとんどしていなかったが、これからは一般の生活者に対しても積極的な情報発信を行い、JPDAの諸活動（事業）に対する理解を深めるべき時に来ている。
  - ② そのために、年度毎の各委員会活動に優先順位をつけて、戦略的な広報計画を立案しそれを遂行していく必要がある。
  - ③ その遂行のポイントは以下のように考える。
    - ・各委員会に広報担当をおく。
    - ・広報担当はリリース等の作成にとどまらず、Webによる情報発信を行っているイ

ンターネット委員会や外部の広報窓口となる事務局との連携を深める役割を持つ。

- ・60周年となる2020年に向け、予算を含めた実行計画を作成する。

これを受けて、井上副理事長より、以下の点について意見交換を行いたいとのコメントがあった。

- ・コミュニケーション方針策定の必要性
- ・もし方針を立てるとしたらどのようなイメージか
- ・実行するのに必要なことは何か：委員会の役割の見直し/体制の見直し
- ・その具体案

#### <意見交換の概略>

- 理事会全体として一般社会に向けた**発信力(広報活動)の強化は必要との認識**であった。
- 具体的に、**だれに向けて発信するのか**を明確にする必要がある。
- SNS等、**媒体についての議論(方法論)**だけではなく、**体制・組織(機能論)**についても考えるべき。
- まず**現在の委員会組織(委員会が多すぎる)**の見直しを行い、いままで以上に**外部に対し発信ができる体制(専門の委員会等)**を検討していく。
- 11月の理事会でタタキ台として、**理事長・総務委員会・事務局**と相談した案を井上副理事長から提案する。

#### 第7号議案 事務局報告

渡邊事務局長より、資料に基づき以下の報告があった。

1. JPDA60周年記念事業のまとめ
  - ・資料にあるようにいままでの5つの事業に、『60周年企画本(パッケージデザインインデックス2020)』が加わり、**全部で6つの事業を進めること**となった。
2. 令和2年度事業計画・収支予算、及び令和元年度事業活動実績・事業収支決算の作成・承認に関するスケジュールについて
  - ・令和2年度の事業計画・収支予算案については、例年より2ヶ月早い10月1日に各委員会の担当理事に作成を依頼し、11月11日に提出いただいたものを調整後、1月の理事会に全体報告、3月の理事会で承認をいただくようなスケジュールで進めたい。
  - ・令和元年度の実績、収支報告は例年通りのスケジュールである。
3. 消費税増税に伴うセミナー等の参加費と諸謝金等の今後の対応について
  - ・10月1日からの消費税増税に伴い、セミナー等の参加費は(税別金額)と(消費税金額)を併記する必要がある、可能であれば、  
「セミナー会費 3,300円(3,000円(税別)+300円(消費税))」  
のようなキリの良い額でお願いしたい。

- ・一方、諸謝金に関しては、次年度より以下のように、対象者にキリの良い額でお渡しできるように統一したい。

「謝礼金：額面 33,411円（税込み） 源泉 33,411×10.21%=3,411円

差引 30,000円をお渡しする」

但し、先方から請求書をいただく場合はこれまで通りの対応とする。

4. 2020年度の顕彰者(社)推薦の依頼について（各理事宛に関連書類の入った封筒用意）
  - ・各理事宛ての封筒に入れた依頼書、推薦書、参考資料を確認いただき、推薦書を11月1日（金）までに事務局まで提出するようお願いしたい。その後、外部アドバイザーの意見も入れて、11月の理事会で選出する予定。
5. スケジュール関係
  - ・2019～2020年（60周年）までのイベントスケジュールと役員選挙関係を含む事務局スケジュール、また、11月以降の理事会、総会スケジュールを案内した。
6. その他報告事項
  - ・外部の出版物（著者はJPDA個人会員）に2007年JPDA大賞金賞受賞作品の写真を提供した件。
  - ・協会案内ミニリーフレットができあがったので、イベント等での積極的な活用をお願いしたい件。
  - ・10月発刊の広報誌『JPDA MAGAZINE Vol. 3』への広告出稿（14社）を案内。
  - ・5/30通常総会後の記念講演会に関する記事（包装技術8月号）と(株)プラグの「AIによるパッケージデザイン評価」に関する記事（ラベル新聞2019/9/1）を紹介。
7. 外部からの展覧会、展示会の案内チラシ等についての案内
  - ・JPDA大賞巡回展を含む「現代日本のパッケージ展」（凸版印刷博物館 P&Pギャラリー：9/28～12/8）
  - ・(株)Too. の100周年特別セミナー「. design Surf2019」（虎ノ門ヒルズフォーラム：10/18）
  - ・広島市からの「企業立地促進補助制度のご案内」

## 第8号議案 委員会報告

### <承認事項>

#### ●出版（『年鑑日本のパッケージデザイン2019』）

- ・山崎理事より、資料に基づき、以下の事業活動の収支報告があり承認された。

○『年鑑日本のパッケージデザイン2019』の発刊

公益会計：収入 5,310,000円（広告掲載料と印税）

支出 4,809,209円（主に出版元である(株)六耀社の制作費）

収支差額 +500,891円

全体の収支差額では、印刷部数の減少（1,200部⇒1,000部）により、印税が減った分、当初の見込みを下回った。（見込みは+770,400円）

## ●西日本（勉強会「あえる」Vo.2）

- ・三原理事より、資料に基づき、8/23（金）に大阪大学中之島センターで開催された西日本勉強会「あえる」Vo.1.2：「サントリーとコーセーのデザイン戦略」についての活動報告があった。

（勉強会参加者86名：会員68名一般 18名）、（交流会参加者50名：会員38名、一般12名）

- ・今回は東日本のインハウスデザイナー2名を招いた勉強会であり、西日本では貴重なセミナーだったこともあり、見込みを大きく上回る参加者を集め大変盛況であった。
- ・山崎理事からは、事例を交えたコーセーのものづくりについてのお話しを、また、水口氏からは「面白い、とは？」、「フリとオチ」などのキーワードによるサントリーの商品の分析をしていただき、その後お二人のデザイン戦略についてのクロストークの時間を設けたが、大変に参考になる充実した内容であった。
- ・収支報告は以下のとおりで、公益会計、法人会計とも承認された。

### ① 勉強会「あえる」Vo.2

公益会計：収入 237,000円、協会補助 62,500円、支出 227,296円、  
収支差額 +72,204円

### ② 交流会

法人会計：収入 216,000円、支出 186,000円、収支差額 +30,000円

## <報告事項>

### ●60周年・APDシンボルマーク

- ・井上副理事長より、前回の理事会で案内した「JPDA60周年」と「APD（アジアパッケージデザイン会議）のシンボルマークが決定したことを、8/17にJPDAホームページに掲載したという報告があった。（最終デザインは議案書 P.67参照）
- ・決定デザインの制作者は2019年度（2020年3月まで）のJPDAが開催するセミナー、勉強会と2020年11月に予定している「アジアパッケージデザイン会議」に無料招待される。

### ●60周年 アジアパッケージデザイン会議

- ・井上副理事長より、資料に基づき、2020年11月の「アジアパッケージデザイン会議」の進捗状況についての案内があった。
- ・現在、講師は京都精華大学学長のウサビ・サコ氏が決まっているが、二人目の講師とし

て無印良品のアートディレクターであり、海外でも著名なデザイナーである**原研哉氏**を候補に折衝を始める予定。

ウサビ・サコ氏については関西毎日放送（TV）のインタビュー番組が紹介された。

- ・また今年の11/8（金）に2020年の開催場所において、参加4カ国・地域（韓国、上海、台湾、タイ）の代表者が集まり、2020年のテーマ、内容の確認を行うAPD代表者会議が開かれることになっており、その内容を現在詰めているとのこと。
- ・森理事より、補足として、前回の台北から始まったAPD貢献賞の授賞を継続することが、また、伊藤理事長より、サブタイトルは” Think Design Future” とすることが案内された。

### ●60周年 JPDAパッケージデザイン学校

- ・小川亮理事より、資料に基づき、JPDAパッケージデザイン学校の2020年6～7月の開校実現に向けて、新たに結成した委員会で検討している内容について以下の案内があった。
- ・基本コンセプトは<最強の発注者になる>こととし、「最高のコンセプトとオリエンテーション」、「デザインの知識と理解」、「デザインの伝え方（デザイナーにデザインを説明する力）」、の3つのポイントをカリキュラム立案のベースとしたとのこと。
- ・校長は加藤専務理事。開催日は2020/6/8・9、6/30・7/1、7/16・17の6日間で場所は京橋のDIC（株）2階の会議室。講師の折衝はこれからだが、カリキュラムは全体で20コマ程度となり、受講費は会員198,000円、一般242,000円（いずれも税込み）と考えている。

<以下は質疑応答>（敬称略）

- ・この内容はサントリー等の大会社ではなく、ローカルの中小企業の担当者が対象になるのか？（梅原）

⇒インハウスデザイナーがいる企業は10社程度しかなく、それ以外の企業はほとんどが外注しているのが現状。したがって、ターゲットが極端に限られることはないと思う。

（加藤）

- ・どのように募集をかけるのか？20人程度を考えているのか？（伊藤）

⇒Webサイト、会員へのメルマガだけではなく、検討に加わっている委員が直接営業をかけることも考えられる。他の理事の方々にも是非応援をお願いしたい。なお、20人受講してくれれば損益分岐点は超える見込み。

11月からWebサイトにアップさせることを考えているとともに、PR用の動画制作も検討したいと考えている。（小川亮）



## ●コンペティション（60周年 日本パッケージデザイン大賞2021）

- ・小原理事より、資料に基づき、2020年コンペ（JPDA大賞2021）に向けて検討を進めている課題について以下の説明があった。

### ① <審査方法>

応募要項、応募方法（映像の提供方法を含む）を2020年2月末までにWebサイトにアップさせ、**応募期間は3/1～31**とする予定。

前回の理事会でもお話ししたとおり、次回の**一次審査は「オンライン画像による審査」とするが**、審査員のPC環境を整えば、**8日程度**の間に全応募作品（前回は約1,200点）を**映像審査**していただくようお願いするつもりである。現在、一次審査員が審査しやすいシステム構築（PCでの映像の見せ方、スマホでの審査等）を検討中。

なお、**二次審査についてはいままで通り、作品そのものによる審査**となるが、審査日はオリンピック開催を考慮し、7月20日（月）の開催を予定している。

### ② <審査員>

**一次審査員**はいままでのように**会員の投票**で選ばれた40名に、**前回の金賞受賞者10名**を加えた計50名を考えている。

一方、**二次審査員**は**会員が10～12名**、**外部特別審査員が3～4名**に**前回の大賞受賞者1名**を加えた14～16名を考えている。

### ③ <審査基準>

6月の臨時理事会での議論を考慮して、コンペ委員会で検討した結果、

「**創造性**」、「**審美性**」、「**機能性**」、「**市場性**」、「**社会性**」

の**5つを新しい審査基準**としていきたい。なお、この審査基準は他の7つのパッケージデザインコンペティションの審査基準といままでのJPDAの審査基準との整合性を考慮に入れたものとなっている。

事前に理事長、副理事長に意見を聞いたところ、若干抽象的なので、もう少し解りやすい表現を考えてはどうかとのアドバイスもいただいているので、今後委員会で再度検討を加えたいと考えている。

## ●展覧会（60周年 第3回創作展）

- ・小川裕子理事より、資料に基づき、7月の理事会での指摘も踏まえた、**2020年の秋に東京と関西で開催する第3回創作展**についての進捗状況について以下の報告があった。
- ・全体のタイトル「**みらいパッケージ展**」とサブコピーはとくに前回ご指摘がなかったの  
で、そのまま考えている。

6つのカテゴリーについて、「懐かしい」というようなレトロフューチャー的なものも考えてはどうかというアドバイスをいただいたが、カテゴリーとして独立させるのは厳し

いと判断したので、とくに変更は考えなかった。

- ・東京での会場は前回同様渋谷ヒカリエを候補に、開催を2020年10月としているが、決定するのは今年の12月になる見込み。募集要項のアップは2020年1月、応募締切は2月末と考えている。告知用のポスターは議案書にあるようなデザインにしていきたい。
- 一方、関西については、中森理事から、APDと同時期(11/5～16)に奈良公園バスターミナルでの開催を検討しているとのコメントがあった。
- ・加藤専務理事より、ポスターのデザイン(案)は白地に黄色で非常に見にくいと思われるので、十分な注意を払ってほしいとの指摘があった。

### ●教育 (JPDA×JAGDAデザインセミナー)

- ・永田理事より、10/28(月)(株)東洋インキ29階会議室で開催予定のJPDA×JAGDAデザインセミナー サトウとカトウ 「グラフィックデザインとパッケージデザインはちがうんです」のチラシについての報告があった。(議案書P.89・90)
  - ・関係者には全て確認済みであり5,000部作成の予定。是非、このデザインでいかせていただきたい。
- 因みに、参加費は一般2,640円、学生1,320円(いずれも消費税込み)としており、基本的に請求書を送り振り込んでいただく。会場は230名まで収容できるとのことなので、幅広くフライヤーを配布する予定である。
- ・このセミナーはJPDAとJAGDAの共催であり、佐藤会長への謝礼金はJPDAから、加藤専務理事への謝礼金はJAGDAからお渡しすることになっている。

### ●デザイン保護

- ・高田理事より、資料に基づき、HPの委員会レポート、7/9に開催されたJPDAデザイン保護委員会について、7/24に開催されたD-8デザイン保護委員会、等について以下の報告があった。
  - ・60周年とAPDシンボルマーク受賞作の知財関連について、山本委員が確認したが、とくに問題はなかった。
  - ・明日9/12(木)開催のセミナー「意匠の類比判断」は現在56名の申込みがある。
  - ・2019年11月26日、2020年2月4日・4月4日の3回、15～20名の参加者を見込んだ「知財塾」を開催する予定。
- 参加費は原則的に3回通しの参加で会員：10,000円、一般：15,000円と考えている。
- ・デザインと法協会から依頼があった情報交換イベント「デザイナーはAIと協業できるか」への講師派遣については小川亮理事を紹介した。

## ●調査研究（第2回研究会 9/19）

- ・桑理事より、配布されたフライヤーに基づき、調査研究委員会第2回研究会「パッケージデザインの価値はどうなるのか 『ザ・買物』」についての報告があった。
- ・会場は(株)東洋インキ29階大会議室。第1回同様、日本包装専士会副会長の島田道雄氏による「デジタルテクノロジーと変わるショッピング」と題した講演とJPDA調査研究委員会からの「パッケージと買い物の変化・超ダイジェスト」という発表の後、参加者、委員会メンバーも交えた「買い物変化で、どうなる？ どうする？パッケージデザイン」というディスカッションを予定している。
- ・今回の参加費は会員：3,000円、一般：4,000円、学生：1,000円だが、第1回からの継続参加の方は会員：2,000円、一般：3,000円、学生：500円とした。

## ●60周年 企画展

- ・信藤理事より、JPDA創立60周年記念事業として検討を進めている企画展「日本のパッケージデザイン 縄文と弥生のデザイン遺伝子-複雑とシンプル」について、資料に基づき、企画内容と進捗状況の報告があった。
- ・この展覧会はJPDAと凸版印刷(株)印刷博物館との共催となり、時期は2020年7月下旬～9月中旬、印刷博物館P&Pギャラリーで開催される予定。現在、企画展検討委員会と印刷博物館のキュレーター寺本氏で検討を進めている。
- ・日本のパッケージデザインは日本の美の基層である縄文（複雑美）と弥生（単純美）の相反する美意識から始まる、多様な美の基盤の上にデザインされているのではないかという予見のもと、古来からの日本のパッケージデザインを俯瞰してみた。  
具体的には、日本の伝統的なパッケージである風呂敷、熨斗袋から、ロングセラー商品、JPDA大賞受賞作品等幅広い種類のパッケージデザインを、5つのデザインテーマ「象（キャラクター）」、「用（使う）」、「美（うつくしい）」、「愛（かわいい）」、「欲（シズル）」に沿って分類し、わかりやすく目に見える形で、その多様性を紹介する展覧会である。
- ・「縄文」と「弥生」のデザイン特長については外部専門家として国立博物館の井上副館長にアドバイスをいただいている。  
委員会で選んだ約100点の作品を5つのテーマ毎に「複雑」と「シンプル」に分類したものは、参考資料としてまとめてあるのでご覧いただきたい。（映像で紹介）
- ・加藤専務理事より以下のコメントがあった。  
「象」は縄文的なものが多く、「用」は弥生的（機能性）なものが多かったり、テーマによってその個性が見えるような展示になるのではないかと思っている。いままでは紙ベースの分類だったが、これからは実際の作品を見ながら、また、それが入手可能かどうかもある考えながら1点、1点見ていきたいと考えている。また平行してこの展覧会を外部に案内す

るグラフィックも検討しているところである。」

- ・梅原理事からは「文化人類学的にも面白い企画なので、1冊の本ができるのではないだろうか。大いに期待している。」とのコメントがあった。

### ●出版（60周年 P.D. インデックス）

- ・山崎理事より、資料に基づき、2020年5月発刊予定の

#### 『PACKAGE DESIGN INDEX OUR BEST WORKS』

の進捗状況について以下の報告があった。

- ・会員に対してはすでに予告のメルマガを配信しているが、**9/17に応募要項をHPにアップ**させるべく内容を詰めているところである。その主な骨子は以下のとおり。
  - ① 60周年の記念出版物として、自薦のベストワークスを掲載することを強調する。
  - ② 今回通常版のインデックスはお休みとなる。
  - ③ 募集対象はJPDAの個人会員・法人会員。会員外では過去に『年鑑日本のパッケージデザイン』に作品を掲載されたことのある個人・法人。
  - ④ 募集作品は法人または個人の自薦ベストワーク作品となるが、発売、発表されたもの（試作品やスケッチは不可）とし、掲載は1ページ1作品、または見開き2ページ1作品に限る。（ブランド・シリーズの作品は複数掲載も可）
  - ⑤ 1社または個人の申込みは10作品まで掲載可能。
  - ⑥ 応募作品のラフレイアウトをいただき、最終的にはJPDAで編集を行う。（技術ページも同様）
  - ⑦ 申込み期間は9/17～10/15、入稿期間は9/17～10/31とする。申込みが完了すると六耀社からIDとPWが案内されるので、それにしたがって入稿していただく。
  - ⑧ 掲載料（税別）はJPDA会員：40,000円/1ページ、一般：60,000円/1ページとするが、複数ページの場合は割引あり。
  - ⑨ 掲載者にはページ数に関係なく、本書1部を進呈する。（いままでは1ページにつき1部を進呈）

### ●アーカイブ（第1回アーカイブ展）

- ・入江理事より、11/6～11/16に開催する予定の**第1回アーカイブ展**に関して、以下の報告があった。
- ・前回の理事会で指摘のあった**展覧会のタイトル**について委員会内で検討した結果

日本パッケージデザイン大賞 第1回アーカイブ展

新しくて、懐かしい。1985—2019

ほぼ平成のパッケージデザイン

としていきたいとのこと。(フライヤー(表)のデザインは資料参照)

- ・現在、年表や作品のキャプション作成を進めていて10月中旬に完成させる予定。  
また、フライヤーの裏面は11/15(金)に、デザイン評論家 柏木 博氏、サントリー(株) 水口洋二氏、(株)資生堂 信藤洋二氏をスピーカーに招いた、第2回アーカイブセミナー「平成という時代とパッケージデザイン」の告知を入れることになっている。
- ・別件だが、D-8で進めている「ジャパンデザインミュージアム」設立の一環として、今年1～2月にJIDAデザインミュージアムで開催された「戦後日本デザインは、どのように成立し、どこに向かうのか?」と、ほぼ同様の展覧会が、11/19～11/29に金沢の柳 宗理研究所で開催されることが案内された。

### ●西日本

- ・森理事より、資料に基づき、11/8(金)の奈良でのAPD代表者会議の翌日、11/9に開催予定の勉強会「あえるVo.3」についての案内があった。
- ・今回の講師はタイパッケージデザイン協会の前会長ソムチャナ氏と台湾パッケージデザイン協会会長のオーエン氏の2名を予定している。この勉強会を2020年のアジアパッケージデザイン会議に結びつけていきたいと考えている。

### ●広報

- ・中森理事より、若干遅れている『JPDA MAGAZINE|VOL 03』が10月上旬に発刊されるという案内があった。(編集内容の詳細は資料参照)

### ●アスパック関連

- ・森理事より、資料に基づき、アスパック関連の報告があった。  
12月のアスパックウィークは12/3(火)～12/7(土)の予定。(詳細は資料参照)
- ・今回よりインドの参加が決まり、参加国は11カ国地域となったとのこと。12/4に有楽町の国際フォーラムで予定されているフォーラム・レセプションの日の午前中に、アジア11カ国にアメリカ・ロシア等の欧米8カ国も加わり、PCを使ってその場でデザイン制作を競う「オリンパック」という新しい“アートバトル”形式のイベントが盛り込まれるとのこと。
- ・次に三原理事、江藤理事より、今回初めて西(京都造形芸大)と東(東京五條製紙ペーパーギャラリー)で開催された国内予選通過者を対象としたワークショップについての報告があった。
- ・西(参加者43名)・東(参加者33名)とも参加した学生は学習意欲が高く、大変エキサイティングなワークショップだったとのこと。

※インターネット委員会は中越理事が中座されたため、資料配付のみとなった。

第9号議案 次回の定例理事会開催の件

伊藤理事長より次回11月の定例理事会について以下の案内があった。

日 時：令和元年11月20日（水）午後1時30分～6時

場 所：文京シビックセンター 3階 シビックホール会議室 2

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前

以 上